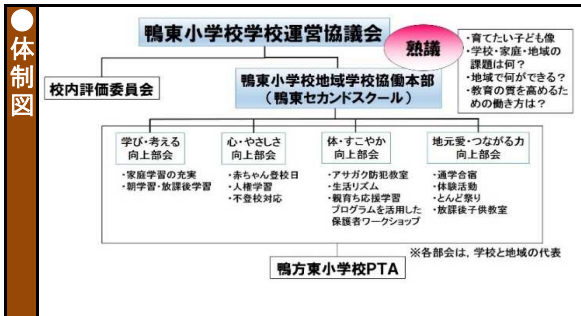


こんな活動です

# 鴨方東小学校の魅力化を支援！ 自分が好き 地元が好き 鴨東っ子～つながりでつくるJIMOTOのカタチ～

岡山県浅口市		●活動名 浅口市立鴨方東小学校地域学校協働本部（鴨東セカンドスクール）		●関係する学校名 浅口市立鴨方東小学校	
協働活動開始年度	平成 20 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	14 学級
				のべ児童・生徒数	356 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成		
	—	放課後子供教室	外部人材を活用した教育支援活動		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	—		1人		
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有
	平成30年3月5日設置		514人		
参考URL	<a href="http://ns1.kamogatahigashi-e.ed.jp/">http://ns1.kamogatahigashi-e.ed.jp/</a>				
●連絡先	浅口市教育委員会 生涯学習課		☎ 0865-44-7001		



●活動の概要・経緯

浅口市の学校支援地域本部事業導入に伴い、鴨方東小学校においても、地域連携担当と地域コーディネーターが学校と地域の窓口となり、学校支援活動を行ってきた。そして、学校・家庭・地域で「地域みんなで子どもの未来を考えるワークショップ」を実施し、この地域で育てたい子供の姿や三者の課題とビジョンを共有してきた。そのワークショップからできたテーマ「自分が好き 地元が好き 鴨東っ子～つながりでつくるJIMOTOのカタチ～」を目指して、平成30年3月に「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会制度)を導入し、学校と保護者、地域がパートナーとなって、より一層連携協働して子供を育てている。

本校コミュニティ・スクールは、ワークショップで共有した三者の課題を類型化し、「学び・考える向上部会」「心・やさしさ向上部会」「体・すこやか向上部会」「地元愛・つながる力向上部会」を下部組織として位置づけ、学校と地域の代表者で構成し、課題解決へ向けた協議や情報共有を行っている。

## ●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- 学習支援では、読み聞かせや放課後学習、家庭科の実習など地域のボランティアが支援に入っている。また、音楽や陸上の学習などでは、専門的な知識や技能をもつ地域人材がゲストティーチャーとして活動しており、児童の活動意欲が高まっている。さらに、総合的な学習の時間に幼稚園児と共に、田植え・脱穀体験を行うなど幼稚園との交流も深めている。
- 6年生の家庭科の学習の中で「赤ちゃん登校日」を実施している。地域の赤ちゃん(2ヶ月～)と母親6組に来てもらいふれ合うことで、家族への協力・感謝や地域の方との関わりについて考える貴重な機会となっている。
- 環境整備では、校内の生け花、草取り、体育館や校舎内のワックスがけ等のボランティアによる学校支援が幅広く行われている。
- 老人会の方を中心に登下校の見守りパトロールやPTAの方に「スクールガード」として休み時間に校内巡視・安全対応をし、児童の安全を維持する取組を実施している。また、「アサガク防犯教室」を開催し、老人会パトロールのメンバーが年4回来校し、1年生対象に地域での安全な過ごし方について指導し、効果を上げるとともに、互いに親しみをもって接することができるようになっている。
- 教育課程外では、「通学合宿(3泊4日)」「(年2回)」、「みんなのおうち(こども食堂)」「(月1回)」、「放課後子供教室」「親子体験活動教室」「とんど祭り」などを地域が中心となって実施している。さらに、夏休みに、教職員、保護者、地域住民などが集まって、「地域みんなで子どもの未来を考えるワークショップ」を行い、課題とビジョンを共有して、地域ぐるみで子供を育てる気運を高めたり、課題解決の方策について熟議をし、様々な意見を教育活動に反映している。

## 【実施に当たっての工夫】

- 教職員と家庭・地域の代表者が集い、「目指す子どもの姿」「三者の課題」について熟議を行うことで、学校に対する地域や家庭の理解が進み、学校・家庭・地域のそれぞれの役割が共有された結果、教育活動の充実や学校・家庭・地域の課題解決につながっている。
- 昨年度実施した働き方改革の取組をコミュニティ・スクールと一体化して行うことにより、民間の視点から学校を見直すことができ、働くことへの意識の違いを感じることができた。また、より生産的で創造的な場になるように職員室レイアウト改善を行った。この取組においても、教職員と保護者・地域の方々約50人が参加して、床の磨き上げ、配線、搬入作業などを協力して行い、職員室がすっきりと明るくなったほか、動線が確保され、コミュニケーションもとりやすく機能的になった。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 地域人材を生かした放課後学習や授業支援、通学合宿や赤ちゃん登校日等の多様な取組が、児童の規範意識や学習意欲の高まり、ボランティアの自己実現につながっている。
- PTA役員や地域住民で構成された「親育ち応援学習プログラム推進チーム」が新入生の保護者対象に参加体験型学習を実施し、保護者同士のつながりづくりに貢献している。
- ボランティアがアシスタントティーチャーやゲストティーチャーとして授業に参加することで、教師だけでは十分体験させられないこと(安全管理・個別指導・専門的な指導)を補っており、授業の効率化と質の向上の両面に効果がある。また、参加したボランティアから、活動に参加する充実感や子供たちとふれ合う喜びが得られるという前向きな感想が多く挙げられている。

## ●その他

- 教職員・PTA役員・地域住民による熟議。育てたい子供の姿や課題を共有し、ビジョン実現のためにアイデア出しをしている。
- 見守りパトロールの方が、1年生対象に年4回、朝学習の時間に防犯教室を実施している。



地域みんなで子供の未来を考



アサガク防犯教室(1年生)